

平成26年度1%システム採択事業

単位(円)

単位(円)

事業名		団体名	事業内容	応募額	採択金額	交付決定額	確定額
一次	1. 市民健康増進事業「第3回津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」	弘前歩こう会	市民の健康増進と親睦交流を図るため、「津軽岩木スカイライン」をゆっくりと自分のペースで歩く健康増進事業を実施する。今年は参加者数の枠を撤廃し、小学生の10kmコース参加を可能とする変更を加え、安全対策を強化し、多くの参加者にウォーキングの素晴らしさを体感してもらうと共に、岩木山の紅葉の絶景と弘前市の魅力を全国に発信する。	460,000	460,000	460,000	460,000
一次	2. 環境美化事業「花いっぱい運動」	梶子町会	町会の青年部、成年部、女性部、子ども会、高齢者対策部が中心となり、町会総出で実施した「花いっぱい運動」を引き続き実施する。町会の大通りの他、町会を東西に延びる枝線の住宅沿いにもプランターを設置し、町内の花壇やプランターに苗花を植えることで、地域の環境美化を図るとともに、住民同士の交流と親睦、相互扶助の活動的な明るい町会をつくる。	134,000	134,000	134,000	134,000
一次	3. 岩木山環状線(ネックレスロード)街路樹の手入れと宮沢賢治の旅を訪ねて	岩木山桜会議	岩木山環状線(ネックレスロード)は、オオヤマザクラ植樹から10年経過し、枯れや雪害による被害、つる絡まり等が見られる木々が増えてきている。そこで、市民の環境に対する意識の向上と郷土愛を深めるため、環状線の街路樹の手入れと、岩木山のふもとにある、宮沢賢治が弟を訪ねてきたという旧陸軍兵舎(鱒ヶ沢山田野地区)を訪れるバスツアーを行う。	225,000	225,000	225,000	225,000
一次	4. 五代町会夏祭り&ほたる鑑賞会(学習会)	五代町会	ホテルが一番多く発生する時期に合わせて、夏祭りホテルの鑑賞会(学習会)を行うことで、子ども達がほたるの習性と自然環境に思いを寄せるきっかけ作りとし、子どもと大人がコミュニケーションをとりながら町会員の親睦を図る。	146,000	146,000	146,000	144,000
一次	5. 環境教育用だんぶり池下敷き作成活用事業	ひろさき環境パートナーシップ21	いろいろな生きものに触れることができる「弘前だんぶり池」で見られる生きものや生態系を紹介した下敷きを作成し、だんぶり池での観察のポイントがわかる資料として活用する。市内の小学校5年生全員をはじめ、だんぶり池で観察活動を行う人たちに配布することで、生きものへの愛着を持ち、自然保護や失った自然を取り戻す活動の意義を広く知ってもらう。	219,000	219,000	219,000	210,000
一次	6. ~和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業~ 題「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内謙岐の守没後443年祭	和徳歴史探偵団	和徳町の地域には、むかし、和徳城があったことや、その城主である小山内謙岐守が満島信によって落城された歴史を持ち、落城前に兵士たちが食べたと言われた「けの汁」の発祥の地とされていることを、次代を担う子どもたちに伝えていくため、郷土料理でもある「けの汁」コンテストや和徳の歴史を掲載した街歩きマップを作成する。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	7. 在府町で学童保育をする	在府町で学童保育をする会	親が働いているため、放課後や休日に「かぎっ子」になってしまう学童が少なからずいるが、在府町・本町地区には、学童のための公的施設がない。そこで、地区内にある空き家を活用し、一つの場所で一時的に行い、学童の居場所を創出することによって、勤務の都合などで子どもの放課後に不安のある親のサポートをする。	500,000	500,000	交付申請辞退	交付申請辞退
一次	8. いちごで笑顔家族・地域お楽しみ事業	三省地区いちごわくわくクラブ	誰でもどこでも栽培することができるいちごの栽培を通して地域活性化を図るため、今年は栽培に関心のある会員を中心に、来年以降地域住民に配布してみんなで栽培していくためのいちご苗の増殖を行う。	197,000	197,000	197,000	197,000
一次	9. 湯口交差点「花いっぱい運動」	JA相馬村女性部	旧相馬村の地図が掲示され、観光バスも頻りに通る湯口交差点を、湯口地区の老人クラブや湯口地区会と一緒に苗花を植えたプランターを設置する「花いっぱい運動」を引き続き実施する。活動を続け、参加者を増やすことを目標に、地域で湯口交差点の環境美化に取り組む。	107,000	107,000	107,000	50,000
一次	10. コミュニティシネマ事業「harappa映画館」	NPO法人 harappa	中心市街地を会場として、県内では上映されることのないミニシアターやドキュメンタリー映画の上映を行う。地域性に合わせた作品選定や実施準備を、ボランティアスタッフや学生などが一緒に実施し、映画教育の一環として、監督や俳優などを招聘してティーチンを行い、より映画を楽しむ取り組みを実施することで地域住民に対する映画芸術、映画文化の普及と振興を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	11. 青森スマートドライバー	青森スマートドライバー実行委員会	市内の交通事故の削減と運転マナー向上を実現するため、オリジナルステッカーの配布などを通して、「安全運転はカッコイイ」という運動を展開する。従来の交通安全イベントとは異なり、取り締まるのではなく、良い運転を「褒める」イベントや小学校等での安全運転についての寸劇を実施し、地域の交通安全意識の向上を図る。	500,000	500,000	500,000	359,000
一次	12. 乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動	乳井町おこし協力会	乳井町会内で放棄され崩壊寸前だった史跡である茶臼館、ホテルが集まるため地の治道整備・階段補強や護岸杭打ちなどの整備を行う。地域のこども会や消防団、老人クラブ等の参加を図りながら茶臼館からの絶景を見る会やホテルの鑑賞会、歴史勉強会を実施することで、地域の良さを再認識してもらい、愛着を高めていく。	368,000	368,000	368,000	243,000
一次	13. 第2回弘前城リレーマラソン	特定非営利活動法人スポネット弘前	行事が少ない6月の弘前公園を会場に、5~21人のチームが1周2kmのコースをタスキリレーでつなぎ、42.195kmを走破する「弘前城リレーマラソン」を開催する。子ども、高齢者、障がい者等、少し運動してみたい人から本格的に走る人まで、様々なニーズに対応したリレーマラソンを実施することで、市民の健康増進やスポーツ人口の増加を図ると共に、スポーツツーリズムを推進する。	300,000	300,000	300,000	296,000
一次	14. 音楽の祭日in弘前(Fête de la Musique à Hiroasaki)	音楽の祭日実行委員会	歴史情緒・異国情緒があふれる建物やお店など弘前の注目されるべき部分を市内外に紹介するため、特に弘前の中にあるフランス文化に着目し、フランスに関する出店を行うほか、土手町でさまざまなジャンルの音楽を演奏し、街に音楽があふれる状態を創出し、土手町や市全体に活気をもたらすイベントを開催する。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	15. 野外活動で活用できる外傷セミナー・こどもの救急講習会	特定非営利活動法人津軽広域救急支援機構	遠足やレクリエーションなどの野外活動中に起こりうる外傷に対する、救急車が来るまでの処置方法や外傷患者の輸送方法等について広く市民に伝えるため、「外傷セミナー」を行う。また、多くの市民にアレルギー食物についての専門知識やアナフィラキシー反応に対する知識を学んでもらい、緊急時の対応についての知識を広めるため、「食物アレルギー講習会」を開催する。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	16. 世界一の桜並木道をノルディック・ウォーク	公益財団法人青森県体育協会岩木青少年スポーツセンター	比較的気軽に、誰でも取り組めるスポーツとして、2本のストックを使って歩く「ノルディック・ウォーク」の普及を図るために開催する。コースは7kmと18kmの2つを設け、世界一の桜並木や水芭蕉、文学碑などを観賞し、蕨を満喫してもらいながら、運動不足の解消や生活習慣病対策などの機会を創出する。	318,000	318,000	318,000	318,000

平成26年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

一次	17.	若葉町会納涼祭り	若葉町会	津軽ダム工事の際に引っ越してきた住民と元からの住民が交流するために行われるようになった納涼祭りを継続して開催する。準備段階から子どもたちの協力を得ながら、家族で楽しみ、地域の高齢者や高齢者施設の利用者など多くの人が交流し親密に触れ合うことができる祭りにすることで、地域内の連帯意識の向上を図り、町会活動の活性化や地域内の防犯対策につなげる。	79,000	79,000	79,000	79,000
一次	18.	弘前市民の森で元気になろう	弘前市民の森の会	ストレスが多い現代社会において、多くの市民の健康と生きがいづくりを目的に、自然環境に恵まれている「市民の森」での各種健康法（森林療法、園芸療法、芸術療法）の体験や、収穫した野菜を活用した料理教室、「ストレスと病気」をテーマとした健康セミナー・健康相談を行う。	170,000	170,000	170,000	140,000
一次	19.	大仏公園紫陽花まつり	石川町会	町会内にある大仏公園と、公園内の紫陽花を広く市民に知ってもらうため、「紫陽花まつり」を開催する。公園内の各所にクイズポイントを設置したり、写真コンテストや俳句・短歌コンテストを行うほか、紙ひこうき大会や祭りを盛り上げるための余興を行うことで、より多くの市民に大仏公園に足を運んでもらう。	278,000	278,000	278,000	278,000
二次	20.	大開町会納涼祭り	大開町会	地域住民同士の親睦をより一層深め、まちづくりの基本となる団結心を育むため、納涼祭を開催する。準備の段階から小・中学生を対象に手描きのポスターを募集したり、三味線・手踊り・ねふたばやしといった伝統芸能を間近で感じることができる場を設け、多世代の交流を図る。	109,000	109,000	109,000	109,000
二次	21.	イルミネーション&ねふたロード整備事業	和徳町大通り町会	弘前市で一番最初の中心市街地であったと言われている和徳町の県道沿いに、子ども達が絵を描き、町会の青年部が中心となって製作したねふた灯籠とイルミネーションを昨年度に引き続き設置する。和徳町県道沿いを、町会住民が整備することで、町会の活性化と交流による絆の強化を図り、和徳の歴史的一幕を後世に伝えていく。	500,000	500,000	500,000	453,000
二次	22.	城西学区安全で安心な「地域安全マップ」作製事業	城西学区子ども安全サポーター推進事業部	昨年に引き続き、犯罪や事故のない、安全で安心して生活できる地域の環境づくりを目指し、城西小学校5年生児童と地域住民と一緒に、「地域安全マップ」を作成する。地域の危険箇所などを調査点検しながら作成した「地域安全マップ」をもとに、他の学年の児童や保護者の前で発表することで地域の防犯意識の高揚と改善を図る。	118,000	118,000	118,000	118,000
二次	23.	桜庭町会内の危険箇所及び道路舗装整備事業	桜庭町会	町会内の法定外道路の路盤及びのり面に損壊している箇所と未舗装の箇所があり、地域内の高齢者や子どもたちが通る際に危険が伴うため、農閑期を利用して、町会の住民を中心に道路の損壊部分の補修と未舗装部分の舗装を行う。	255,000	255,000	255,000	255,000
二次	24.	岩木山エコプロジェクト	岩木山観光協会	岩木山は美しい山であるのに、登山客やトレkkerから山中に廃棄物が目立つという話が多く寄せられている。美化活動・エコフォーラムのほか、写真展などの啓発活動を引き続き実施することにより、市民に対し岩木山を大切にしようとする意識とエコ活動の浸透を図る。	500,000	500,000	500,000	494,000
二次	25.	ふくろうと共存するりんご生産における農業の新展開	ふくろうの会	ふくろうが棲める環境の推進は、りんご園でのネズミ被害の減少と減農薬が可能となる。バランスのとれた生態系と調和したりんご生産の先見性を広く、農家を含む弘前市民に認知してもらうため、りんご農家、小学生親子、大学生等広く市民を対象に、先進地事例（浪岡地域）見学や、巣箱設置場所の調査、巣箱の作成やふくろうの生息・生態に関する調査を行う。	500,000	500,000	500,000	493,000
二次	26.	ラベンダーロード再生事業	相馬地区小・中学校PTA連絡協議会	旧相馬村が国の補助事業で整備した遊歩道のラベンダーの花壇が、近年維持管理が行き届かなくなり、防草マットの破損から雑草が生えてラベンダーの美しさが保てない状態となっている。相馬小・中学校の児童や生徒と保護者が一緒になり、荒れた花壇を再生し、維持管理をしていくことで、地区内の景観の保全を図る。	164,000	164,000	164,000	158,000
二次	27.	2014岩木町絆フェスティバル事業	岳陽ふるさと創生会	帰省者を含め、地元住民と子どもたちとの交流の場を創出するため、夏祭りを開催する。ねふた運行、仮装盆踊りを通じて近所付き合いを密にしてみよう、地元の伝統文化に触れてもらうほか、のど自慢大会や地元アーティストによるコンサートを行うお見合いパーティーを通して、地域の活性化を図る。	477,000	477,000	477,000	477,000
二次	28.	エンジョイ・プレイセンター	青森県にプレイセンターを創る会	0歳～小学校入学前の子どもの親、家族を対象に、子どもの自由な遊びと、それを見守り一緒に学び合う親たちの自主運営、自主保育の活動を開催する。子どもたちや親たちの交流の場を創ることで、地域の活性化を図る。	54,000	54,000	54,000	54,000
二次	29.	甕れ、雑種地から交流農園へ	向外瀬町会	建設業者に賃貸していた町会管理の土地が、業者の経営が頓挫したことにより雑木が茂り、建材の積み残しが残ったまま放置状態になっている。近年、地域住民の交流が希薄化していることから、この土地を近隣住民のいこいの場として活用していくため、地域住民の手で地域の交流農園として整備する。	500,000	500,000	500,000	500,000

平成26年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

二次	30.	N響メンバーと合同で演奏するチェロアンサンブル	ひろさきチェロアンサンブル同好会	今年度、NHK交響楽団の演奏会が弘前市で行われることと、楽団のチェロセクションに弘前市出身の方がいることから、プレコンサートとして、弘前市のアマチュアチェロ奏者とNHK交響楽団のチェロ団員との合同の演奏会を開催する。演奏を聴きに来た市民が一流の演奏に気軽に触れられる機会と、会場を土手町にすることで中心市街地に市民が足を運びきっかけを創出する。	179,000	179,000	179,000	179,000
二次	31.	東目屋地区活性的な活動の回覧板新聞発行事業	楽しいね東目屋！実行委員会	東目屋町会連合会有志で組織する実行委員会が、地域の活動や情報・活躍している人物などにスポットを当てた「いつ・もの・こと東目屋回覧版」を作成し、地区全世帯に配布する。作成作業には、町会民が気軽に参加できるような公開編集会議を開催するなど、新聞をきっかけに住民同士が交流できる場を作り、地域の連帯感や地域活動への参加意識の向上を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	32.	住吉針桐を天然記念物に！「住吉ハリギリ祭り」	住吉町会	町会のシンボリックな存在として古くから存在し、弘前市の保存樹に指定されている「針桐の木」への関心を高めるきっかけとして「住吉ハリギリ祭り」を行う。針桐の前でカラオケ大会を行うほか、針桐の価値を地域住民に知ってもらうための講演会を行い、地域への愛着を深め、今後の針桐の維持管理へつなげる。	164,000	164,000	164,000	164,000
二次	33.	栄町ふれあい夏まつり	栄町町会	町会行事への参加者に偏りが出ており、町会住民間のコミュニケーションが希薄になってきているため、コミュニケーションを図る場として夏まつりを開催する。近年、高齢者の参加が減少していることから高齢者の送迎を行い、幼児から高齢者までが楽しくふれあえるような内容に見直し、まつりを通じて住民同士の信頼関係を高め、防災・福祉等の活動等への意欲を向上させる。	227,000	227,000	227,000	227,000
二次	34.	山岸堰改良事業	国吉町会	町会を流れる山岸堰は、防火用水・融雪用水・農業用水として利用されているが、春先の融雪時や豪雨時の際に水が溢れたり、決壊の恐れがあるため、U字溝を購入し、地域住民で改修工事を行う。 (延長70m)	435,000	435,000	435,000	435,000
二次	35.	石渡町会ふれあいの集いと自主防災訓練	石渡町会	地域住民の交流による絆づくりと地域の活性化を図るため毎年開催している「ふれあいの集いと自主防災訓練」の実施に加え、石渡町会版防災冊子や、あっぷる体操のチラシを作成し、防災意識や健康づくりの意識向上を図る。	217,000	217,000	217,000	180,000
二次	36.	ひろさきアフタースクール「地域の力を取り込んだ放課後づくり」プロジェクト	あんだよ・せらびー共育研究会	昨年度の「市民先生養成講座」を踏まえ、その実践編として市内の小中学生を対象に「夢をはくくむプログラム」を展開する。地域で行われている「文化」を体験させるプログラムを構成し、安全で安心な放課後を、地域の市民先生と共に作り上げていく。	245,000	245,000	245,000	225,000
二次	37.	伝統文化を身近に「津軽音広場」	津軽の音実行委員会	津軽三味線や横笛などの「津軽の音」を次世代に継承していくため、小学校から大学生までの弘前市在住の人を対象に、様々な講座と成果発表会を開催する。子どもたちの感性・創造性・自主性を育てるためのきっかけ作りと、伝統文化の裾野を広げ、伝統音楽の普及と意識向上を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	38.	手造り屋台村	小沢地区屋台村実行委員会	参加者の減少により50年続いた運動会が昨年終わることになったことから、地域住民がそれぞれに手造りの屋台を出展する「手造り屋台村」を開催する。屋台のほか、子どもから高齢者まで楽しめるイベントも実施し、地域内の活性化を図るとともに、地域住民の親睦を深め住みよい環境をつくる。	153,000	153,000	153,000	153,000
二次	39.	PECSロゴステッカーを拡散して、ASDの方の外出を推進するプロジェクト(略称：PECSロゴステッカー拡散プロジェクト)	あおもりPECS研究会弘前支部	参加協力店を対象に、ASDの方などに世界的に広く使用されている絵カード(PECS)を用いたコミュニケーション方法やASDについて学ぶワークショップと、参加店舗で安心して買い物ができる場を提供し、言葉でのコミュニケーションに難しさを感じていることが多いASD(自閉症スペクトラム障がい)の方の外出や買い物などの余暇活動の場を広げ、安心して楽しく外出できるまちづくりの推進を図る。	382,000	382,000	382,000	215,000
二次	40.	岩木山トレイルランニングフェスティバル2014(第一回)	岩木山トレイルランニング実行委員会	岩木山百沢スキー場を会場に、「岩木山トレイルランニングフェスティバル」を開催する。初心者から本格的にランニングをしている人まで、様々なニーズに対応した大会とすることで、市民の健康増進やスポーツ人口の増加を図ると共に、自然豊かな岩木山で開催することにより、スポーツツーリズムの推進を図る。	500,000	500,000	500,000	499,000
二次	41.	第12回ホームムービーの日	HMD弘前	過去に撮影された8ミリフィルムや16ミリフィルムの中には、数十年前のさくらまつりやカルチャロードの映像が存在することから、弘前の貴重な映像を、史料として後世に残していくため、家庭に眠るフィルムを上映する「ホームムービーの日」等各種イベントを開催する。市民に映像史料の大切さを実感してもらうことにより、家庭に残るフィルムを残そうとする意識を高める。	438,000	438,000	438,000	438,000
二次	42.	Nature 今こそ自然に還るとき	弘前学生BBS会	市内の小学5・6年生を対象とし、アクアビレッジANMOで2泊3日のキャンプを行う。参加した子どもたちに、トレッキングなどで自然の素晴らしさ、川での救出法や災害時の対処法の体験では自然の厳しさを体感してもらうことで、自然や命の大切さを再認識し、郷土愛を深めてもらう。	411,000	411,000	411,000	316,000

平成26年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

二次	43.	ギネス記録も持つ!!津軽の笛が大集合! 第2回津軽笛博覧会	津軽笛地域づくり実行委員会	ねぶたや立佞武多、登山囃子などの津軽の笛と普段携わることのできない雅楽で使用する「竈笛」のワークショップや、津軽の郷土芸能と津軽笛の共演コンサートを開催する。津軽に伝わる文化を深く掘り下げて学ぶことで、津軽笛を愛好する人物を育成し、ねぶた等での笛指導者のレベルアップと指導力アップを図り、津軽笛の奥深さを感じてもらう。	500,000	500,000	500,000	459,000
三次	44.	通学路等における児童の見守り活動	堀越子ども見守り隊	近年子どもが犠牲になる犯罪や不審者が増加していることから、地域が子どもたちに関心を寄せることが必要である。そこで、昨年度から行っている揃いのベストでの見守り活動に加え、堀越小の児童から募集した防犯・交通安全についての標語入りポスターを地域に貼付したり、ステッカーを貼った車での見守り活動を行う。	216,000	216,000	216,000	216,000
三次	45.	豊田小学校通学路排雪事業	豊田小学校父母と教師の会	近年豪雪が続き、行政の委託業者による除排雪が追いつかないという状況の中、平成25年3月には雪ですり鉢状になった通学路で児童が怪我をする交通事故が発生した。事故の再発を防ぐため、業者による除排雪が実施されるまでの期間、PTAを主体にして地域内にある除雪機を利用し、危険箇所の排雪をピンポイントで行い、通学路の安全を確保する。	317,000	317,000	317,000	242,000
三次	46.	青年団リンク ホエイ「珈琲法要」弘前公演実施事業	弘前は珈琲の街です委員会	「珈琲の街ひろさき」の歴史の根拠を知り、先人たちの偉業や苦難の歴史を広く市民に知ってもらうため、藩政時代に蝦夷地警備に赴いた弘前藩士が、コーヒーを薬用として飲んだという歴史が描かれた演劇「珈琲法要」を弘前市で上演する。	500,000	500,000	500,000	500,000
三次	47.	青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業「第1回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」	時敏地区青少年育成委員会	今日の子もたちが失いつつある日本の伝統的文化と昔の遊びに親しむ機会を創出し、時敏地区内の子もたちと高齢者がふれあうことで世代間交流を図ると共に、地域の大人が協力して地域の子もたちの健全な成長を培うことに対する理解に繋げる。	371,000	371,000	371,000	371,000
三次	48.	弘前市民による地域包括ケア実現のための研修会 みんなでつくる地域包括ケアの街～ひとりひとりの「生きる」を大事にしよう～	ひろさきナラティブ.net	医療が必要な状態となっても地域でその人らしく暮らしていけるように、市民が積極的に関わっていけるような市民が主体となった地域包括ケアのまちづくりを実現させるため、在宅医療の講演・グループワークを開催し、在宅医療は生活を支援する目的で行われるものであることを市民に理解してもらう。	202,000	202,000	202,000	172,000
三次	49.	岩木山南麓豪雪まつり	岩木山観光協会	「雪と遊ぼう」をテーマに、豪雪を活かした冬の岩木山ならではの内容のイベントを実施し、雪を楽しみながら過ごす機会を提供する。岩木山麓の各団体が協働作業により事業を実施することで、地域の団結を深め、地域活性化への意識を向上させていくほか、それらを市民や観光客にPRし、冬場の岩木山の楽しみ方を伝えていく。	498,000	498,000	498,000	497,000
三次	50.	ひろさきを絵手紙にして知ってもらおうワークショップ「こころを伝える ひろさき絵手紙展」	津軽ひろさきマーチング委員会	弘前の街の景観を保存し、弘前への愛着意識をより高めるために、弘前のさまざまな風景を描いたイラスト展示を行う。また、展示と同時に絵手紙教室を開催し、参加者に弘前の風景や特産品を描いてもらい、完成した絵手紙を全国に発信してもらうことで弘前をPRする。	309,000	309,000	309,000	309,000
三次	51.	ともに生きる精神障がい者の理解・普及・交流会「松本ハウスがやってくる」～笑って学ぼう精神疾患～	津軽地域精神障がい者社会復帰支援連絡会	精神障がいを克服し芸能活動に復帰したお笑いコンビ・松本ハウスの講演会を開催する。疾患を体験した当事者・ハウス加賀谷と彼を支えた相方・松本キックの体験談を聞くことで、精神障がいに対する誤解や偏見を解消し、疾患の正しい知識を真面目に、時には面白く、広く市民に知ってもらう。	305,000	305,000	305,000	299,000
三次	52.	農の魅力、子どもに発信!	弘前大学財政ゼミナール	近年の農業後継者不足の原因には、子どもたちの農業への興味・関心が薄れてきていることも考えられるため、かぶの栽培から食するまでの流れを紙芝居にし、紙芝居の発表会を開催する。また、紙芝居を絵本風に仕立てたものや、レシビ、子どもたちに向けたメッセージを盛り込んだ冊子を作成し、小学校や幼稚園・公民館に配付してより多くの子どもたちに農業の魅力をPRする。	89,000	89,000	89,000	89,000
三次	53.	組ねぶた制作技能継承事業一組ねぶたを見直そう	弘前ねぶた参加団体協議会	江戸時代から津軽地方で制作されてきた伝統的なねぶた灯籠の様式である組ねぶたを作る団体が年々減少してきていることから、組ねぶたを制作する技法の分析や整理を行い、マニュアルを作成しねぶたを作成する団体等に配布することで、組ねぶたの技術の伝承を図る。	500,000	500,000	500,000	0 ※1
三次	54.	昴地区集会所協働開放事業	昴町会	子どもの放課後の居場所づくりを目指して、これまで開放されていなかった集会所を月1回開放し、有効活用を図る。また、町会内外の子もから大人まで、さらに市民先生やサポートしてくれる学生が集うことで、町会の魅力再発見や活性化へつなげる。	144,000	144,000	144,000	43,000
三次	55.	福祉と暮らしの相談会～多職種ネットワークによる相談会～	一般社団法人権利擁護あおい森ねっと	生活に問題を抱えた市民が、できるだけ1か所で問題を解決できるように、縦割りシステムを横断的につなぎ、多職種が連携することによって、いつでも市民の相談に応じることが出来る体制を構築するため、多職種による相談会を開催する。	178,000	178,000	178,000	178,000

平成26年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

三次	56.	文化周知のためのイベント開催	ういっちたいむ!!実行委員会	「クールジャパン」と呼ばれ国際的に評価されている日本のアニメや漫画、ゲーム等の「サブカルチャー」を、ひとつの文化として広く市民に知ってもらうためのイベントを開催する。イベントを通じた異業種間の人々の交流や、第一線で活躍するクリエイターを招いたフォーラムにより、若い世代や地域で活動する個人のパフォーマンスに活躍のチャンスを与え、弘前の活性化を図る。	487,000	487,000	487,000	484,000
三次	57.	「やりたいことをやらなくちゃ」プロジェクト	Hiomaru	弘前の学生を中心とした若年層が感じている、弘前だから〇〇出来ない、どうせ変わらないという“気持ちのプレーキ”を取り払う事を目的に、東京から各業界の現場で活躍している講師を招き、講演会、座談会、ワークショップを行う。キャリア形成のきっかけと、県外からの視点で弘前の良さを発見・共有することを目指す。	477,000	477,000	477,000	477,000
三次	58.	過疎地域スポーツ推進事業	特定非営利活動法人スポネット弘前	少子化で部活動やスポーツ少年団もなく、運動をやる環境がない地域の子どものために、その地域へ出向いて定期的なスポーツ教室を開催する。スポーツ人口の増加に資することや、他校の生徒との交流を通じた子どもたち自身のコミュニケーション能力の向上を図り、スポーツに親しむことを通して地域全体を巻き込んだ形での地域の活性化や、多世代間の交流促進を図る。	204,000	204,000	204,000	197,000
合 計					<b>18,826,000</b>	<b>18,826,000</b>	<b>18,326,000</b>	<b>16,808,000</b>

※1 事業廃止

申請事業 64事業 21,016千円  
採択事業 58事業 18,826千円  
交付確定事業 57事業 16,808千円